

名前：線 延飛

略歴：

2001年7月 東北育材外国語学校卒業（中国・瀋陽市）

2006年3月 名古屋大学工学部機械・航空工学科卒業

2008年3月 東京大学大学院工学系研究科環境海洋工学専攻修士課程修了

2008年4月 ボッシュ（株）入社（2009年3月退職）

2014年9月 東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻博士課程 満期退学

2014年10月 東京大学生産技術研究所 学術支援職員を経て

2017年8月より、現職。（CMI 特任研究員）

所属学会：日本機械学会

専攻分野：構造解析、損傷力学

現在の研究内容：超音波、非破壊検査など

業績リスト：

原著論文（査読有り）：

- [3] 線延飛, 都井裕, “部分連成解析による溶射コーティング被膜の損傷評価”, *日本シミュレーション学会論文誌*, (2017)
- [2] 線延飛, 都井裕, “非連成解析法による多層塗膜の動的破壊挙動の損傷力学シミュレーション”, *日本シミュレーション学会論文誌*, Vol.8, No.3, pp.119-127 (2016)
- [1] 線延飛, 都井裕, 田中英紀, “水和を考慮したコンクリートおよびモルタルの損傷力学モデリング”, *日本シミュレーション学会論文誌*, Vol.8, No.2, pp.49-56 (2016)

紀要（査読無し）：

- [2] 都井裕, 線延飛, 岡正徳, 上之藺欣弥, 黒田良一, “鋳鉄部品の損傷力学モデリング”, *生産研究*, Vol.62, No.1, pp.111-114 (2010)
- [1] 都井裕, 杉崎雷太, 栗栖泰, 四阿佳昭, 線延飛, “溶射コーティングの損傷挙動のシミュレーション”, *生産研究*, Vol.61, No.4, pp.781-784 (2009)

国内学会講演論文（査読無し）：

- [12] 線延飛, 齋藤理, 岡部洋二, 樋口暢浩, “レーザ超音波可視化動画からの反射波抽出によるCFRP積層板の層間剥離検出”, *日本機械学会2019年度年次大会*, (2019) 秋田大学
- [11] 線延飛, 齋藤理, 樋口暢浩, 岡部洋二, “レーザ超音波可視化技術に基づくハニカムサンドイッチ構造における界面剥離の検出”, *第10回日本複合材料会議*, (JCCM10-2019) 日本大学

- [10] 線延飛, 齋藤理, 樋口暢浩, 岡部洋二, “レーザ励起ガイド波によるハニカムサンドイッチ構造の剥離損傷の検出”, 第26回機械材料・材料加工技術講演会, (M&P2018) 山形大学
- [9] 線延飛, 都井裕, “損傷力学モデリングによる連成解析の工学的応用”, 第7回システム創成学学術講演会, 一般セッション2, (2016) 東京大学本郷キャンパス
- [8] 線延飛, 都井裕, “非連成解析による多層塗膜の動的損傷力学シミュレーション”, M&M 材料力学カンファレンス 2015, "GS0501-214-1"- "G S0501-214-3", (2015) 慶応義塾大学
- [7] 線延飛, 都井裕, “部分連成解析法による溶射コーティング被膜の損傷解析”, 日本機械学会 2014 年度年次大会, "G0310301-1"- "G0310301-3", (2014) 東京電機大学
- [6] 線延飛, 都井裕, “溶射コーティング被膜の損傷挙動の有限要素解析”, 第63回理論応用力学講演会講演論文集, Vol.63, No.0, pp.159 (2014) 東京工業大学
- [5] 線延飛, 都井裕, “養生効果を考慮したモルタルの損傷力学モデリング”, 第61回理論応用力学講演会講演論文集, Vol.61, No.0, pp.184 (2012) 東京大学生産技術研究所
- [4] 線延飛, 都井裕, 田中英紀, “水和を考慮したコンクリートの自己修復モデリング”, 日本機械学会 2011 年度年次大会, "G030104-1"- "G030104-3", (2011) 東京工業大学
- [3] 線延飛, 都井裕, 田中英紀, “水和を考慮したコンクリートの損傷力学モデリング”, 第60回理論応用力学講演会講演論文集, Vol.60, No.0, pp.228 (2011) 東京工業大学
- [2] 上之菌欣弥, 岡正徳, 都井裕, 線延飛, 黒田良一, “鋳鉄の損傷力学モデリングに関する研究: その2: 疲労実験と疲労挙動の同定”, 日本シミュレーション学会大会発表論文集, Vol.27, pp.231-234 (2008) 立命館大学
- [1] 線延飛, 都井裕, 岡正徳, 上之菌欣弥, 黒田良一, “鋳鉄の損傷力学モデリングに関する研究: その1: 損傷力学モデルと単軸引張・圧縮挙動の同定”, 日本シミュレーション学会大会発表論文集, Vol.27, pp.227-230 (2008) 立命館大学